

# 琵琶湖、そして淀川

～水と命のつながり～

## 航海の特徴

### 琵琶湖の生き物と水環境に視点をあてた環境学習

琵琶湖の近くに住む児童と琵琶湖の水が流れていく淀川流域の児童が、二日間の学習航海を通して琵琶湖の水とそこに生息する生き物たちの姿にふれるとともに、自分たちの命もまた、琵琶湖の水によってつながっていることを実感することにより、琵琶湖を大切にしようとする心情と態度を育てる。

## (1) 航海の航路・日程



### <1日目>

- 10:00 大津港発  
出港見学、開校式
- 13:30 今津港着  
びわ湖環境学習Ⅰ  
「水鳥センター」での活動
- 17:00 夕食
- 19:00 「湖の子」の夕べ

### <2日目>

- 6:00 起床
- 7:00 朝のつどい
- 8:00 今津港発
- 9:00 竹生島港着・見学
- 10:00 竹生島港発  
びわ湖環境学習Ⅱ
- 12:20 沖島展望
- 13:30 「湖の子」掃除、閉校式
- 14:30 大津港着、下船

## (2) 展開事例

### ① 学習活動のねらい

- ・琵琶湖の水が近畿1400万人の人々の命だけでなく、周りに生息する生き物の命も支えていることに気付くことができる。
- ・昔と今の琵琶湖の水質の変化を知り、水質浄化、水質悪化の原因や作用を人々の暮らしと関係づけて追究することができる。
- ・多くの生き物のいのちを育むヨシの役割を知り、ヨシを守り育てることの大切さを考えることができる。

### ② 学習の流れ

#### 学校での事前学習（課題見つけ 課題づくり 意欲づけ）

#### 1. 昔と今の琵琶湖の水質について調べる。

- ◎水質の変化（透明度、COD等）
- ◎淡水赤潮・アオコの発生と原因



なぜ 琵琶湖の水質は変わってきたのだろう？

#### 2. 琵琶湖の水質が変わってきた原因を考え、水をきれいにするための取り組みについて知る。

- ◎人々の生活様式と産業の発達
- ◎水辺の変化

#### 3. ヨシの役割について調べる。

- ◎リンや窒素を減らす方法（富栄養化防止条例）
- ◎水質の変化とヨシ群落の関係



琵琶湖の水やヨシについてもっと調べてみよう！



## フローティングスクールでの学習

### びわ湖環境学習Ⅰ<1日目>

#### 【水鳥観察センター】

- 水鳥ウォッチング（水鳥と水辺の観察）
- ヨシベンづくりとスケッチ
- 水辺の生き物と環境の話

### びわ湖環境学習Ⅱ<2日目>

- プランクトンウォッチング（顕微鏡によるプランクトン観察）
- 「湖の子」水調べ（北湖、南湖、淀川のヨシ原の水を比較）
- 水のよごれ回復調べ
- 奥琵琶湖展望と水辺の観察



### 学校での事後学習（課題解決に向けて 調べる 行動する）

- ◎水辺の生き物と自分たちの生活のつながりについて調べる。
- ◎びわ湖の水質回復のためにできることを実践する。

## (3) 活動の様子

### びわ湖環境学習Ⅰ<1日目>

#### 【水鳥観察センターによる活動】



「水辺の生き物と環境の話」



「水鳥ウォッチング」



「ヨシベンづくりとスケッチ」

### びわ湖環境学習Ⅱ<2日目>



「プランクトンウォッチング」



「湖の子」水調べ  
(北湖、南湖、淀川のヨシ原の水を比較)



「水のよごれ回復調べ」